

聖泉看護学研究 執筆要領

1. 原稿の体裁

1) 原稿作成時の注意点

執筆に際しては、原則 APA スタイルに準拠する。

2) 原稿の様式

原稿は原則として MS ワードを用い、A4 版 40 字×30 行 (1200 字) の横書きとする。フォントは、11 ポイントで和文は明朝体、英数字は Century とする。余白は、上 35mm 下左右 30mm とする。

3) 仮名づかい

新仮名づかい、ひら仮名使用とし、句読点 (.,), カッコ (〔, 〕, (,) など) は 1 字分とする。

4) 英文

1 字分に半角 2 文字を収める。

5) 数字、記号

全て算用数字とし、1 字分に半角 2 文字を収める。

6) 単位符号

原則として SI 単位 (kg, mg, mm, ml, kcal, °C など) を用いる。

7) 外国語

固有名詞以外の外国語は、できる限り訳語を用い、必要な部分は初出の際のみ原綴を付する。

8) 見出し

見出しは、章・節・項の順に I, 1, 1), (1) を使用し、読みやすく構成する。

9) その他

国際的な共通語を使用し、略語や符号などは一般的に認められている略語、符号等に関しては、初出時に簡単な説明を加える。

2. 原稿の制限ページ数

投稿規程に刷り上りで制限ページを示しているように、図表を含め最終的な刷り上りページ数を考慮して原稿を作成すること。

	刷り上り	原稿
1 頁あたり	2 段組 22 字×45 行 (1980 字)	1 段組 40 字×30 行 (1200 字)
総説 原著 研究ノート	9 頁以内	15 頁以内
実践研究 資料	6 頁以内	10 頁以内
その他	3 頁以内	5 頁以内

3. 倫理

投稿規程に示したように、論文中に倫理的配慮について明記すること。

例	聖泉大学研究倫理審査委員会の承認 (承認番号 12345, 承認日 2010 年 4 月 21 日) を得ている。
---	---

4. 原稿の冒頭

原稿の冒頭には、題目 (和文と英文)、著者名 (和文と英文)、所属機関名 (和文と英文)、キーワード (和文と英文、各 6 語以内)、代表者の連絡先、原稿枚数、図表及び写真の枚数、希望する論文種別、別刷必要部数、編集委員会への連絡事項を記した表紙を付ける。

5. 抄録

抄録は、目的、方法、結果、考察に分けて見出しをつけて記述する (構造化抄録)。原著、研究ノートは、400 字程度の和文抄録に 250 words 前後の英文抄録を native check を受けた上で付ける。その他の論文種別については、400 字程度の和文抄録のみを付ける。

6. 本文

次のように書くのが望ましい。

1) はじめに / 序論 / 緒言

研究の背景、関連する先行研究、研究を始めた動機、研究の目的を説明する。

2) 本論

研究の方法 (実験方法、分析方法等)、得られた結果、知見、先行研究との比較、考察などについて、図表を用いて説明する。

3) まとめ / 結論

得られた結論や成果を簡潔に記す。また、残された課題があれば簡単に書く。

4) 付記

学術集会等で発表し投稿内容の一部または全部が既に公表されており、それらを加筆・翻訳した形で投稿する場合については、その旨を付記し、その文献を参考文献リストに加える。科研費等の助成を受けている場合についても、その旨を付記する。

例	本論文は、聖泉 (2008) で発表した研究を発展させてその成果をまとめたものである。 本研究は JSPS 科研費 JP16K45678 の助成を受けたものである。
---	---

5) 利益相反

当該研究の遂行や論文作成において、利益相反となるような経済的支援を受けた場合には、その旨を記載する。利益相反状態が存在しない場合には、「本研究における利益相反は存在しない」と記載する。

7. 謝辞

謝辞は、当該研究に対して助言や協力を受けた者を記す。

8. 補注

本文への補注を必要とする場合は、(1)(2)…の記号で該当箇所の右肩に示し、「補注」として参考文献リストの前に一括して記載すること。

9. 参考文献

1) 本文中の参考文献の引用

本文中の引用は、(著者苗字, 出版年) や (著者苗字, 出版年: 引用ページ) のかたちで表記する。共著者がいる場合、和文文献の場合は著者を「,」でつなぎ、著者が3名以上いる場合は第一著者のあとに「ら」とする。英文文献の場合は著者が2名のときは和文と同様に「,」でつなぎ、著者が3名以上の場合、第一著者のあとに「et al.」をつける。

例	単著	(山崎, 2008) (山崎, 2008: 30-35)
	2名の著者	(姉崎, 米林, 1982) (Walker, Avant, 2005)
	3名以上の著者	(宮崎ら, 1985) (Walker et al. 2005)

2) 参考文献の記述形式

論文等の最後に「文献」として著者苗字のアルファベット順で一括し、姓と名の両方を記す。欧米圏の著者名の場合は、Family Name (最初の文字だけ大文字) と First Name のイニシャル (大文字) で表す。複数の著者の場合は、ひとりずつカンマ (,) で区切り、著者が3名以上の場合、3名までの著者名を記し「○, ○, ○, 他」もしくは「[○, ○, ○, et al.」と表記する。同一著者の著作物を複数扱う場合、発表年の昇順で列挙する。雑誌名は省略せず、出版年は西暦で表記する。

種類	記述形式	例
雑誌論文	著者名. (発行年): 論文表題, 雑誌名, 巻(号), 始頁-終頁.	日本太郎, 看護花子, 研究二郎. (1998): 社会的支援が必要なハイリスク状態にある高齢入院患者の特徴, 日本看護研究学会雑誌, 2(1), 32-38.
単行本	著者名. (発行年): 論文表題, 編者名, 書名, 始頁-終頁, 出版社名, 発行地.	研究太郎. (1995): 第1章 物質の姿と成り立ち, 聖泉太郎, 看護基礎科学入門, 23-52, 研究学会出版, 大阪.
翻訳書	原著者名. (原書の出版年/翻訳書出版年). 翻訳者名 (訳), 翻訳書の書名, 始頁-終頁, 出版社名, 発行地.	Walker, L. O., & Avant, K. C. (2005/2008). 中木高夫, 川崎修一 (訳), 看護における理論構築の方法, 77-79, 医学書院, 東京.
Webページ	制作者名: タイトル, アドレス (URL), [検索日].	日本社会学会 (2009): 日本社会学会ホームページ, http://www.gakkai.ne.jp/jss , [検索日2009年2月2日].

10. 図表及び写真

図表、写真などは直ちに印刷できるように別紙に作成 (1ページに1つとする) し、挿入箇所を論文中に指定する。一連番号を付するとともに、必ず題を付ける。図表1枚は2000字、1/2枚程度は1000字、1/4枚程度は500字の原稿量に相当する。なお図、写真は刷り上りではモノクロ印刷となることに留意する。

11. 提出物

原稿は正 (オリジナル) 1部のほかに、副 (コピー) 2部を添付し投稿する。原稿の内容は、論文チェックシートで確認し、原稿につける。

2019年2月20日 改訂
2019年4月1日 施行